



# 2026年3月期 第1四半期 決算説明会

FISCAL YEAR MARCH 2026 FIRST QUARTER  
FINANCIAL RESULTS



新型MAZDA CX-5

2025年8月5日  
マツダ株式会社

# 本日の説明内容

- **決算総括**
- **2026年3月期 第1四半期 実績**
- **2026年3月期 通期見通し**
- **まとめ**

注：本資料において当期純利益・損失は、親会社株主に帰属する当期純利益・損失を示す

# 決算総括

## 今期の目標

- 厳しい事業環境の中、サプライチェーンを守ることを優先し、販売台数を維持
- 経営のレジリエンシー強化と効率化に継続的に取り組み、第2四半期からの反転を図る
- 営業利益500億円、当期純利益200億円、キャッシュフローの黒字化を目指す

## 今期の施策

- グローバル販売台数は、米国での販売減をその他の市場でオフセットし、前年並みを維持
- 新型CX-5の成功裏の導入、国内ビジネス構造変革
- 米国販売奨励金の抑制を継続しつつ、さらなる価格アクションに向け競争環境を注視
- 関税対応施策に加え、800億円のコスト削減（変動費400億円、固定費400億円）を目指す。追加関税影響 約2,300億円に対し、60%以上を打ち返す

# 2026年3月期 第1四半期 実績

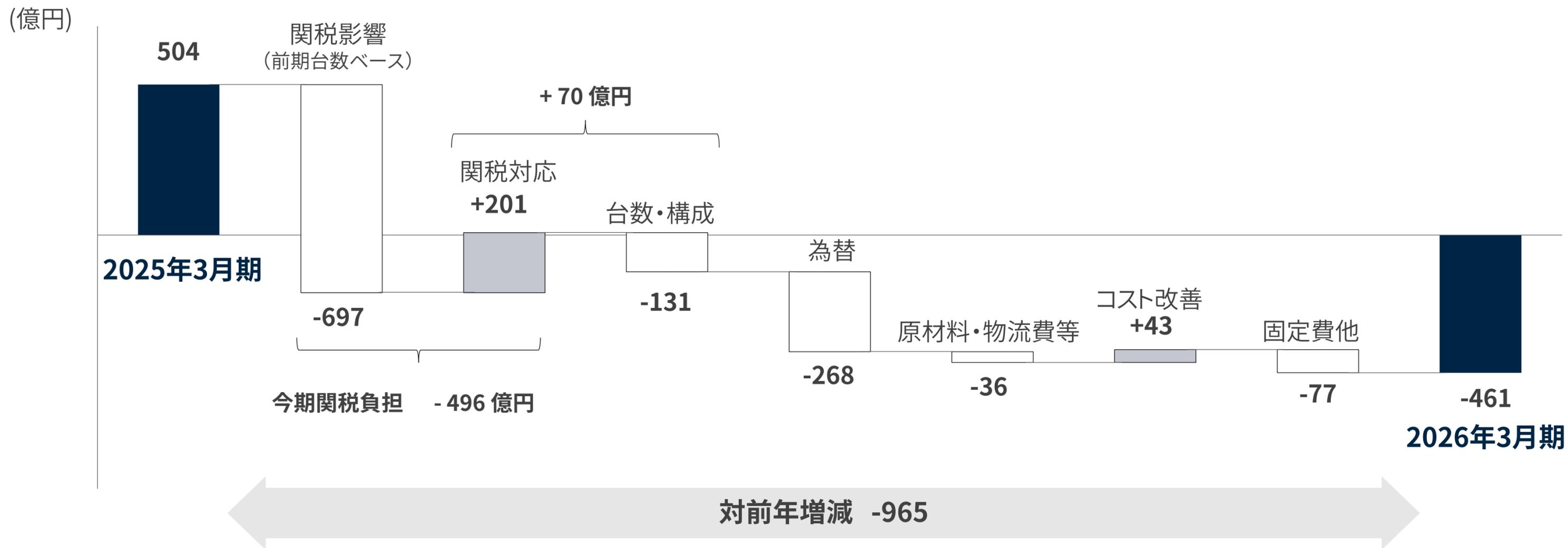
# 2026年3月期 第1四半期 台数実績

(千台)	2025年3月期	2026年3月期	対前年	
	第1四半期	第1四半期	第1四半期	
生産台数*	300	276	-24	-8%
グローバル販売台数				
日本	29	32	+3	+11%
北米	146	147	+1	+1%
欧州	49	39	-10	-21%
中国	18	18	-0	-2%
その他市場	67	65	-2	-3%
合計	309	301	-9	-3%
米国	102	100	-2	-2%
オーストラリア	25	24	-1	-4%

# 2026年3月期 第1四半期 財務指標

(億円)	2025年3月期	2026年3月期	対前年	
	第1四半期	第1四半期	第1四半期	
連結出荷台数 (千台)	291	266	-25	-9%
売上高	12,056	10,998	-1,058	-9%
営業利益	504	-461	-965	-
経常利益	803	-343	-1,146	-
当期純利益	498	-421	-919	-
売上高営業利益率	4.2 %	-4.2 %	-8.4 pts	
EPS (円)	79.1	-66.8	-145.9	
為替レート (円)				
USDドル	156	145	-11	
ユーロ	168	164	-4	
タイバーツ	4.25	4.37	+0.12	
メキシコペソ	9.06	7.42	-1.64	

# 2026年3月期 第1四半期 営業利益変動要因(対前年比較)



台数・構成	-131	為替	-268	原材料費・物流費等	-36	コスト改善	+43	固定費他	-77
台数構成・価格	-101	USD	-59	原材料費	-38	ベースCI	+43	研究開発費	-100
販売奨励金	+16	EUR	-15	物流費	+2			減価償却費	0
その他	-46	AUD	-57					品質関連費用	0
		THB	-9					広告宣伝費	0
		MXN	-45					その他	+23
		その他	-83						

# 2026年3月期 通期見通し

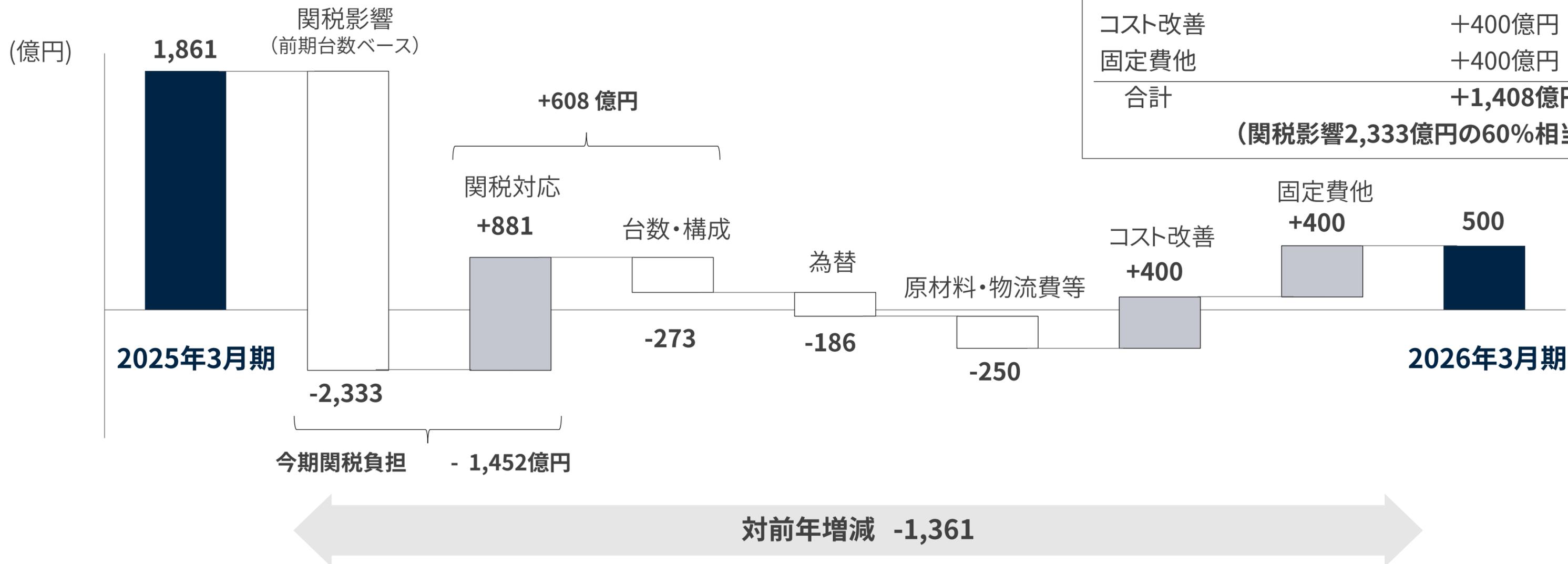
# 2026年3月期 通期 台数見通し

(千台)	2025年3月期	2026年3月期	対前年	
	通期	通期	通期	
<b>グローバル販売台数</b>				
日本	152	161	+9	+6%
北米	617	595	-22	-4%
欧州	174	177	+3	+2%
中国	74	76	+2	+2%
その他市場	285	291	+5	+2%
合計	1,303	1,300	-3	0%
米国	435	400	-35	-8%
オーストラリア	97	98	+1	+1%

# 2026年3月期 通期 財務指標

(億円)	2025年3月期	2026年3月期	対前年	
	通期	通期	通期	
連結出荷台数 (千台)	1,219	1,192	-26	-2%
売上高	50,189	49,000	-1,189	-2%
営業利益	1,861	500	-1,361	-73%
経常利益	1,890	530	-1,360	-72%
当期純利益	1,141	200	-941	-82%
売上高営業利益率	3.7 %	1.0 %	-2.7 pts	
EPS (円)	181.0	31.7	-149.3	
為替レート (円)				
USDドル	153	145	-8	
ユーロ	164	169	+5	
タイバーツ	4.38	4.37	-0.01	
メキシコペソ	8.02	7.64	-0.38	

# 2026年3月期 営業利益変動要因(対前年比較)



【関税オフセット】	
関税対応を含む台数・構成	+608億円
コスト改善	+400億円
固定費他	+400億円
合計	<b>+1,408億円</b>
(関税影響2,333億円の60%相当)	

台数・構成	-273	為替	-186	原材料費・物流費等	-250	コスト改善	+400	固定費他	+400
台数構成・価格	-129	USD	-142	原材料費	-275	ベースCI	+250	研究開発費	+80
販売奨励金	0	EUR	+154	物流費	+25	構造的原価低減	+150	減価償却費	-24
その他	-144	AUD	-122					品質関連費用	+51
		THB	-4					広告宣伝費	+67
		MXN	-31					その他	+226
		その他	-41						

# まとめ

# まとめ

## ■ 第1四半期実績

- 追加関税の影響があったものの、グローバル販売は堅調に推移
- 不確実性の高い環境下において、収益性の最大化と在庫適正化を重視し、反転に向け準備

## ■ 通期見通し

- 収益構造改革のアクションは緩めることなく徹底して加速
- 第2四半期以降、仕向地・仕様ミックスの最適化など営業面の努力やコスト改善の効果で、関税影響 約2,300億円の60%以上をオフセットし、収益の反転を図る
- グローバルで前年並みの販売台数、営業利益500億円、当期利益黒字を目指す

## まとめ

- 収益構造改革のスピードを上げ、柔軟かつ機動的な戦略実行
  - 電動化の時間軸が変化する中、「BEVは意志あるフォロワー」戦略、ライトアセット戦略を最大活用
  - 全社横断のAI活用専任組織を立ち上げ、オペレーションスピード倍速、生産性を劇的向上へ
  
- 配当について
  - 2026年3月期の中間配当は前年同様の25円
  - 前年並みの年間配当を目指すが、期末配当は未定とさせていただきます。今期の進捗を見極め、適切なタイミングで公表



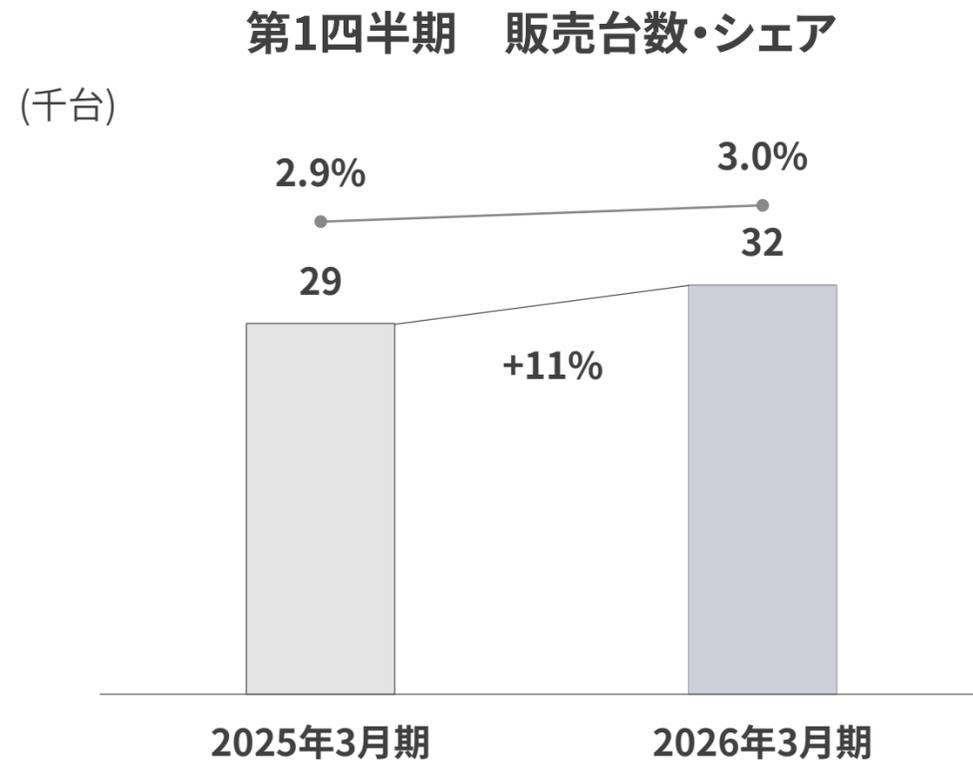
**mazda**

# 添付

# 日本



- 対前年11%増の3万2千台を販売
- 第1四半期は、ロードスターやラージ商品の貢献により販売台数増加
- シェアは対前年0.1pts増の3.0%  
登録車シェアは同0.5pts増の3.7%
- 通期販売見通しは対前年6%増の16万1千台
- 国内営業領域の構造変革を通じて、あらゆる接点でお客さまのブランド体験提供の強化を図る。これに加えて国内販売網の再構築と店舗の支援体制を整備し、生産性の高い国内販売ビジネスの実現を図る

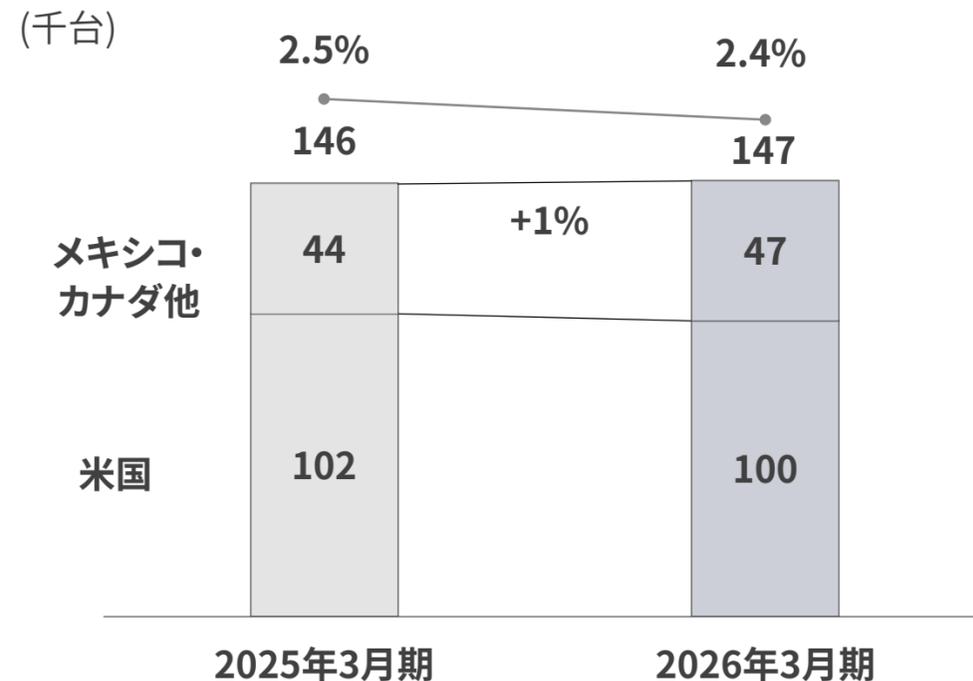


# 北米



- 対前年1%増の14万7千台を販売
- 通期販売見通しは対前年4%減の59万5千台
- 米国:
  - 対前年2%減の10万台を販売
  - シェアは対前年0.1pts減の2.4%
  - CX-50、CX-70が増加もCX-30が減少
- メキシコ:
  - 対前年2%減の2万4千台
  - 需要減少の中でも前年並みのシェア・台数を維持
- カナダ:
  - 対前年20%増の2万3千台
  - CX-5、CX-70などが対前年販売増を牽引しシェア改善

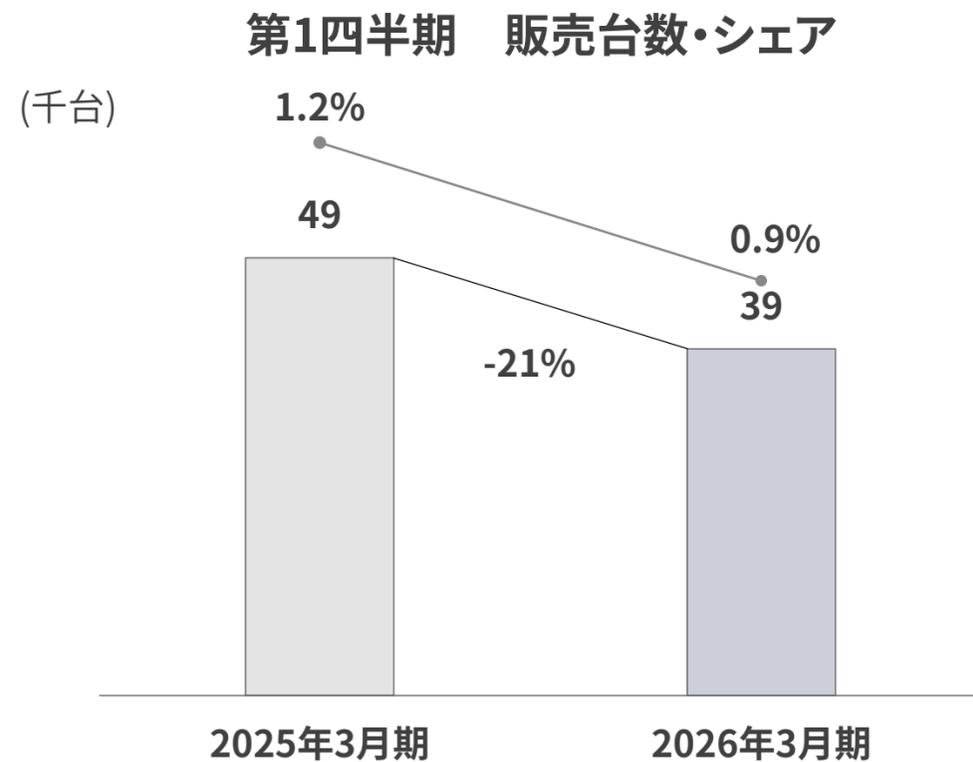
第1四半期 販売台数・米国シェア



# 欧州



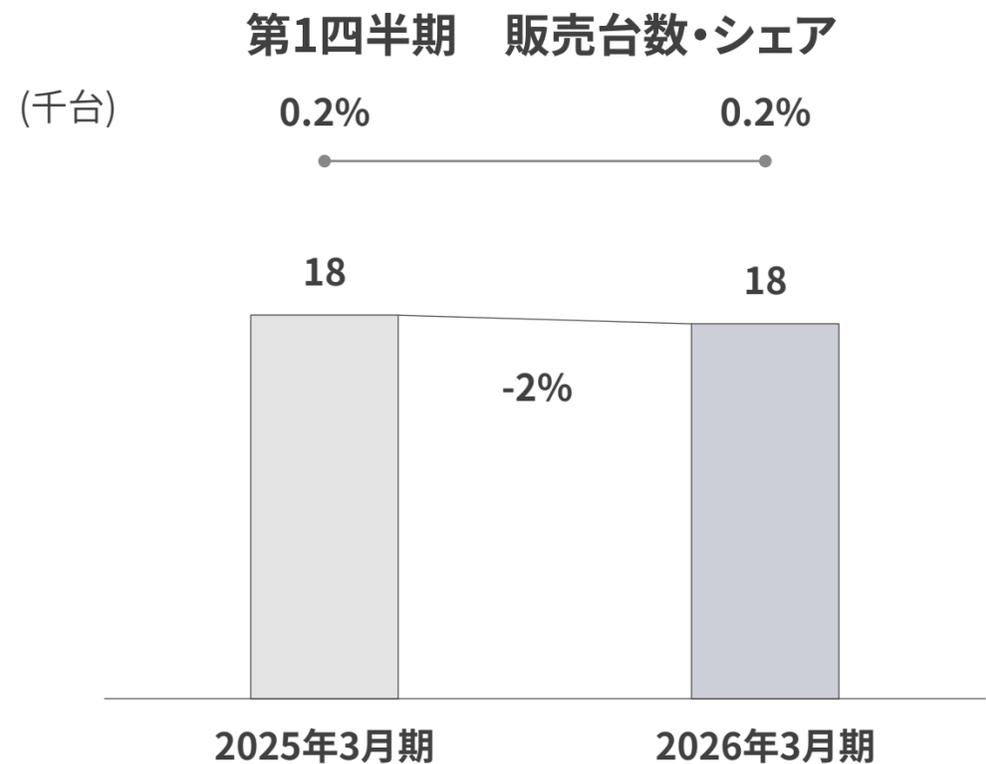
- 対前年21%減の3万9千台を販売
- シェアは対前年0.2pts減の0.9%
- CX-60、CX-80などが増加も、生産が終了し在庫販売中のMAZDA2やCX-5、MX-30の販売が減少
- 通期販売見通しは対前年2%増の17万7千台
- 主要国の販売
  - ドイツ: 対前年21%減の1万台
  - 英国: 対前年18%増の8千台
- 2025年7月に新型CX-5を初公開。年末より発売予定



# 中国



- 対前年並みの1万8千台を販売  
シェアは前年と同水準の0.2%を維持
- 新エネ車への需要シフトが加速する中、  
前年10月に発売した電動専用モデルMAZDA EZ-6  
が、内燃機関車の販売減をオフセット
- 通期販売見通しは、前年比2%増の7万6千台
- 4月の上海モーターショーで発表した、  
新型電動クロスオーバーSUV「MAZDA EZ-60」を  
年内に発売予定

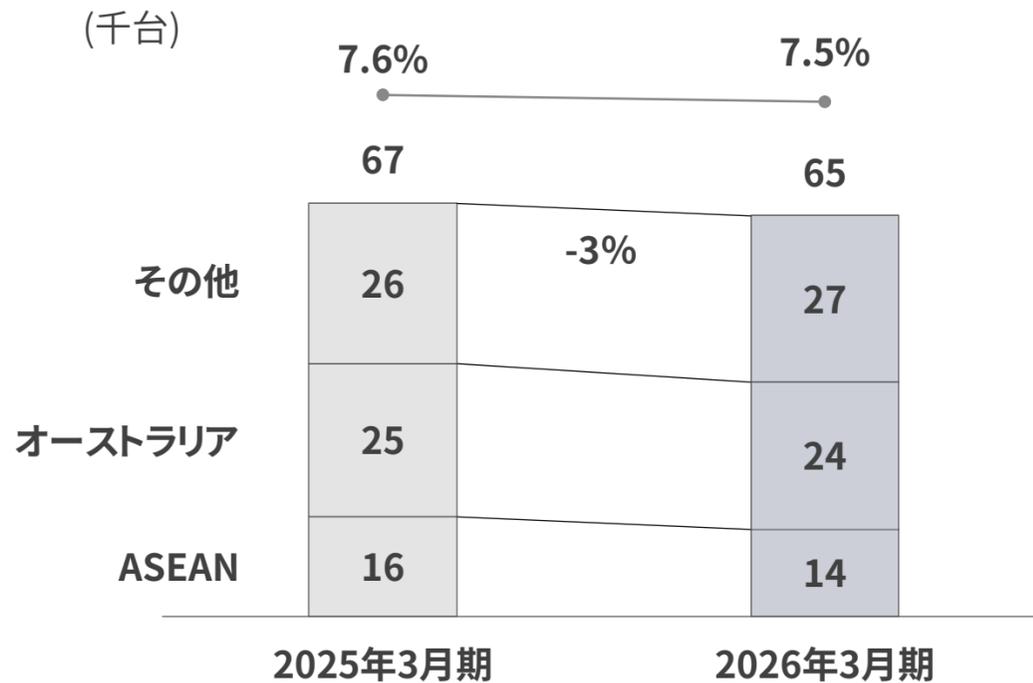


# その他市場



- 対前年3%減の6万5千台を販売
- 通期販売見通しは対前年2%増の29万1千台
- オーストラリア:
  - 対前年4%減の2万4千台を販売
  - シェアは対前年0.1pts減の7.5%
  - ラージ商品群の販売力向上や既存車種の販売台数最大化に努め、対前年0.1pts減のシェアに留めた
- ASEAN:
  - 対前年13%減の1万4千台を販売
  - タイ: 対前年29%減の2千台
  - ベトナム: 対前年20%増の8千台
  - マレーシア: 対前年54%減の2千台

第1四半期 販売台数・豪州シェア



# 2026年3月期 第1四半期 連結出荷台数 実績

(千台)	2025年3月期	2026年3月期	対前年増減	
	第1四半期	第1四半期	第1四半期	
<b>連結出荷台数</b>				
日本	29	35	+6	+22%
北米	154	142	-12	-8%
欧州	40	30	-10	-25%
その他市場	68	58	-10	-14%
<b>合計</b>	<b>291</b>	<b>266</b>	<b>-25</b>	<b>-9%</b>
米国	107	97	-10	-10%

# 2026年3月期 通期 連結出荷台数 見通し

(千台)	2025年3月期	2026年3月期	対前年増減	
	通期	通期	通期	
<b>連結出荷台数</b>				
日本	136	158	+22	+16%
北米	643	582	-61	-9%
欧州	153	172	+18	+12%
その他市場	287	280	-6	-2%
<b>合計</b>	<b>1,219</b>	<b>1,192</b>	<b>-26</b>	<b>-2%</b>
米国	447	386	-61	-14%

# 2026年3月期 第1四半期 キャッシュ・フローおよびネット・キャッシュ

(億円)	2025年3月期	2026年3月期
	通期	第1四半期
営業キャッシュ・フロー	3,056	-1,411
投資キャッシュ・フロー	-2,000	443
フリー・キャッシュ・フロー	1,057	-968

(億円)	2025年3月期	2026年3月期	対前期末増減
	通期	第1四半期	
現金及び現金同等物	11,056	9,893	-1,163
有利子負債	7,052	6,996	-56
ネット・キャッシュ	4,003	2,897	-1,106
総資産	40,901	39,223	-1,678
自己資本	17,923	17,205	-718
自己資本比率	44 %	44 %	0 pts

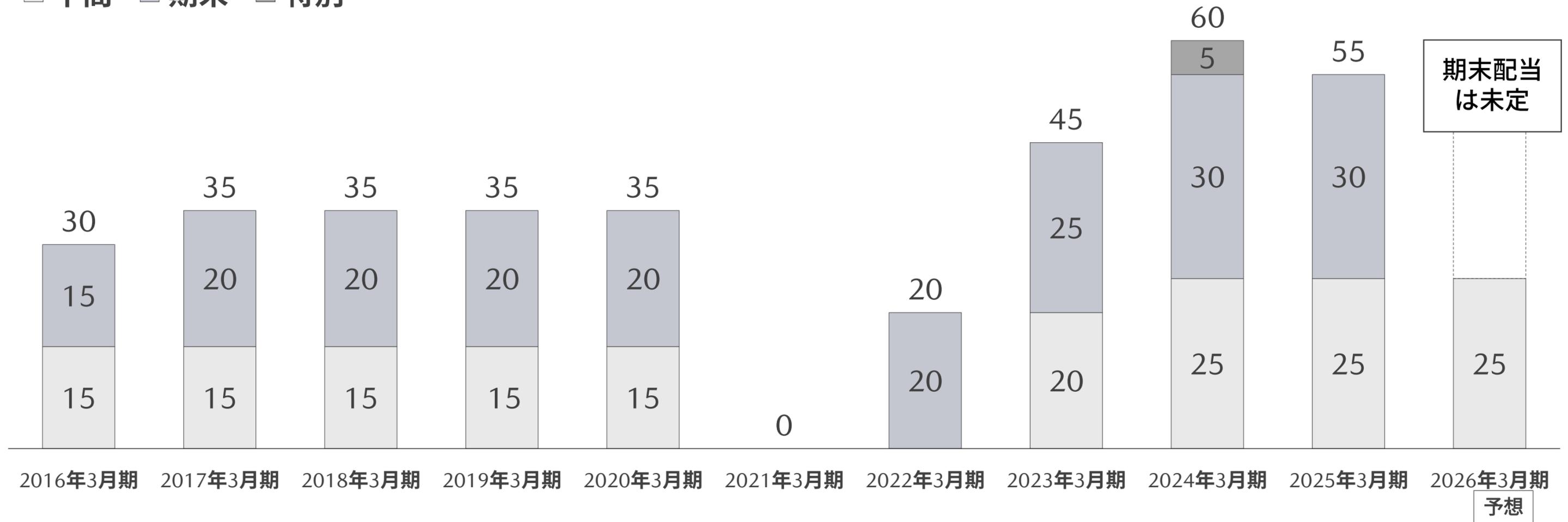
# 為替レート(期中平均)

(円)	2025年3月期	2026年3月期	対前年増減
	通期	通期	通期
USDドル	153	145	-8
ユーロ	164	169	+5
カナダドル	110	106	-4
オーストラリアドル	100	94	-5
英ポンド	195	197	+2
タイバーツ	4.38	4.37	-0.01
メキシコペソ	8.02	7.64	-0.38

# 配当について

## 1株当たり配当金 (円)

■ 中間 ■ 期末 ■ 特別



## 将来見通しに関する注意事項

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の見通し及び将来の戦略については、今後の世界経済情勢、業界の動向、為替変動のリスクなど様々な不確定要素が含まれております。従いまして、実際の当社業績は見通しと大きく異なる結果となる場合があることをあらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。当プレゼンテーション資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。